

宮城県女川町「架橋後を見据えた離島の活性化の方針策定」

目的・背景

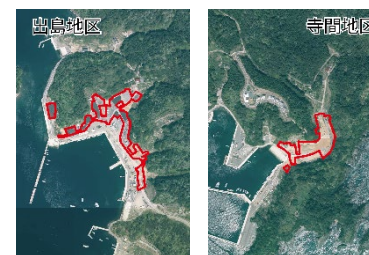
移転元地を含めた架橋後の島全体の振興策を検討

- 約4.3haの移転元地が点在し、多くは未利用地となっている。
- R6年度に本土から続く出島架橋が完成し、住環境の変化が予想される。架橋後の島のあり方を考えると、**早急な島全体の振興策の検討が必要**。
- 島民からは架橋後の来島者による住環境の悪化を懸念する意見が挙げられ、本事業を進める上では、**島民の不安解消に向けたフォローが不可欠**。

位置図



航空写真



取組とその効果

- 架橋に向けた庁内プロジェクトチームを編成し、**架橋後の行政課題を整理**。加えて、島民との意見交換会とアンケートを行い、**島民の抱く出島振興への意見と課題を抽出**。
- マリンアクティビティ（SUP）の実証実験を実施し、**フィールドとしてのポテンシャルと架橋に向けた産業・にぎわい創出に向けた課題を整理**。
- 官民連携により出島振興について検討する「**出島振興協議会**」を組成。

取組の様子



マリンアクティビティ（SUP）
実証実験の様子

取組経過

- 6～9月 元地の利活用を考えるにあたり、島全体の振興策を検討することとし、**庁内プロジェクトチームが発足**。観光振興のキープレイヤー候補となる民間事業者を特定
- 10～11月 海を活用した**アクティビティ実証実験**を実施し、フィールドとしてのポテンシャル及び今後の**実現に向けた課題を把握**
- 12～3月 官民連携による**出島振興協議会が設立**。協議会では**行政課題の共有や島民意向調査**を実施

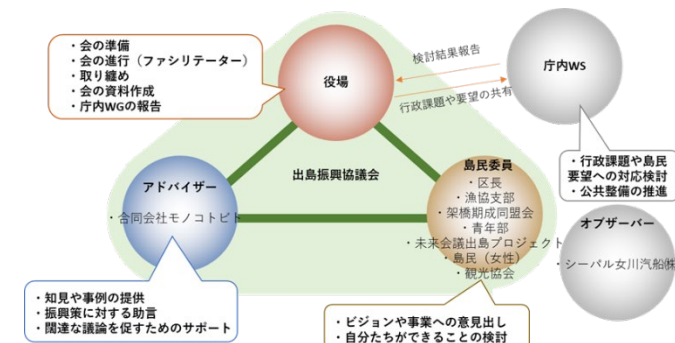
取組成果



出島振興協議会の様子



実証実験後 意見交換会の様子



出島振興協議会体制イメージ

今後の方向性

- 離島振興に向けた担い手（実践者）の確保**
- 出島振興ビジョンの策定**
- 一般施策を活用した振興策の検討**
- 離島振興に向けたハード施設整備の推進**